URL
http://www.salon-newsmag.co.jp
E-mail
info @ salon-newsmag.co.jp

第2905号
2011
8/10㊌
（第1、2、3、4 水曜日発行）
昭和24年7月26日
第三種郵便物認可

全国 Salon Newsmagazine Corp.
理美容新聞

本紙購読のご案内　月3~4回水曜日発行　購読料 1ヶ月1,260円（本体1,200円）年間分15,120円（本体14,400円）を前納
購読のお申し込みは最寄りのディーラーさまへ、または直接当社まで

発行所
サロンニューズマガジン株式会社
大阪市北区天満4−14−19
（新聞事業部）TEL06−6358−5805
FAX06−6358−8505
振替貯金口座　00920−6−13683番
東京都新宿区西新宿7−7−7−404
（新聞事業部）TEL03−3360−3311
FAX03−3360−3312

Kracie
マイルドシェービング　極上オトコ!　I♥Hair
クラシエ ホームプロダクツ販売株式会社
http://www.kracie-salon.com

『日本ビューティ・コーディネーター協会』発足

ビューティ・コーディネーター育成に尽力

〝美容業界の発展と継続する革新〟を協会理念とした『日本ビューティ・コーディネーター協会』（＝JBCA、小林治理事長、谷口誠治委員長）が設立となり、7月4日に大阪市中央区にあるホテル日航大阪で発足会並びに懇親パーティーが開かれた。同協会は「ビューティ・コーディネーター」という資格を美容業界に広めていくために誕生。当日は関心の高さから、多くのサロン関係者をはじめ業界メーカー、ディーラー、ジャーナルなど約160人が参集し、「美容業界の価値を高め、美容の未来を受け継ぐ人を育てる―」という協会からの説明に聞き入った。

関心の高さから業界関▶係者多数が来場した

軒数が増える一方で、売上げが減少する厳しい状況…

今回、産声をあげた「ビューティ・コーディネーター」について同協会は次のように説明する。

「美容室軒数が増えている一方で、美容室売上げは減少するという厳しい状況に対して、美容師の社会的地位向上や、美容の価値を高め、美容という職業に夢を持ち、一生捧げられる職業にするためにJBCAでは『ビューティ・コーディネーター』という資格を広めていくことを目的の1つとして発足しました。美容を志す新しい人たちを受け入れ、指導されている教育関係者の方々、人間力を高め、優れたサロンスタッフを育てておられる経営者の皆様、美容業界の発展に尽力されている代理店、ジャーナル、メーカーの皆様にビューティ・コーディネーター検定の普及活動へご参加頂き、美容業界の発展をより確実なものにしていきたいと願っています」

業界の価値を高める活動を皆でやっていく時期に

小林理事長

発足会ではまず小林理事長が挨拶に立ち、「お忙しい中、本日は多数お集まり頂き誠にありがとうございます。今日は『日本ビューティ・コーディネーター協会』の発足会ということで、私たちの協会がどういう活動をしていくのかということを含めた説明会も兼ねまして開催させて頂きます。

まず発足の経緯についてですが、昨年、仲間内の美容オーナー4~5人のメンバーで、これからの美容室経営について話をしている中で今の美容業界って何かおかしいんじゃないか?ということになりました。このままで大丈夫なのか?…。サロン展開をしていく上で業界の価値そのものがどうなっているんだ?ってことで、美容室軒数はここ数年微増となっていますが、全体の売上げは2001年をピークにしまして10年近く減少傾向をたどっており、誠に不思議な構造になっています。

つまり軒数が伸びているのに、売上げが下がっている…。更に割引広告が多くなっており、それに伴いお客様は何を感じているんだろうか? 美容室をどう見ているんだろう?って感じるようになりました。また若いこれから美容業界に飛び込んでみようって人たちが、我々の業界にどう未来を託していけるのか? そういったことを考えます。

そこで、メーカーさん、ディーラーさん、美容学校さんなど含めて業界の価値を高めていく活動を皆で手を取り合ってやっていく時期がそろそろ来たのではないかと、大げさではありますが感じています。

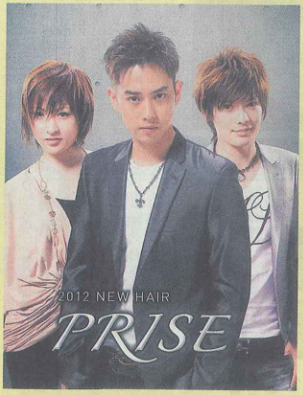
年2回検定試験を実施 ビジネス資格として普及

では、一般の女性らが美容室に対してどう思っているのか? まず、そこに目を向けていかなければなりません。今まで我々は技術の提案を一生懸命にやって来ました。一方で、お客様が今から求めていくのは、綺麗になるということ、また綺麗な生活をしていく、

全理連

2012年ニューヘア『PRISE（プライズ）』

強さの中の柔らかさ　柔らかさの中にある立体表現



2012全理連ニューヘア『PRISE』

全理連（大森利夫理事長）は7月6日、東京都新宿区にある中央理美容専門学校で2012年ニューヘア『PRISE（プライズ）』の発表会を行った。

『PRISE』は、「prime＝最高」と「rise＝上昇」を合わせた造語。ターゲットは、これからの日本経済を支える団塊世代ジュニア。彼らがより輝き、より高みを目指し上昇するにあたって、斬新で力強く、優雅に、また表現力の豊かなデザインが求められており、『PRISE』は、そんな彼らの魅力を十分に引き出すことを目指して誕生した。

技術的には、1つのカットシステムを活用するだけとシンプル。後は、各ゾーン（ロー、ミドル、ハイの3ゾーン）の長さを変えるだけで、「ショート」「ミディアム」「レディス」と3つのスタイルを表現。これを『3to1スタイル』という。簡単、かつスピーディーな工程で、多くのスタイリストが可能な技法（スタイル）になっている。

発表会では、全理連の大森利夫理事長や辻眞一教育委員長、全国理容中央学園の堀純校長らに加えて同スタイル設定委員チーフの池田道治氏も挨拶。池田氏は、スタイルの特徴として、デザインを生かすためのアイロン&パーマテクニック、新しさと力強さのスモーキーカラー（くすみ系カラー）、強さの中にある柔らかさ、柔らかさの中にある立体表現とそのための新カット技術などを紹介。そして「多くの方に共有、共感して頂けるのでは」と語った。

その後、DVD上映、実技発表と進行し、出席者はより『PRISE』への理解を深め、発表会は終了した。

【2012全理連ニューヘア『PRISE』】

辻眞一設定委員会委員長、池田道治チーフ、村上重雄、椋本浩司、山本博司、稲垣武臣、山口美星の各委員

谷口委員長